

第1回専門研修WT(地域保育)での主な意見

子育て支援員(仮称)研修制度に
関する検討会
第2回専門研修WT(地域保育)
平成26年9月26日

資料1

※子育て支援員研修制度全体に関わる部分は除く。

1 地域保育コースの枠組みについて

- 従事する事業特性に応じた研修とすることが必要。
- 地域保育コースの中でも、共通にできる研修と個別の事業ごとの研修を分けた方がよい。
- 人材確保という面から考えると研修時間はあまり長すぎない方がよい。
- 従事に際しての研修時間を長くせずに、フォローアップ研修でカバーするべき。
- 小規模保育、家庭的保育、事業所内保育についてはある程度科目を共通にできる。
- 一時預かりは他の保育と専門性が違うので、一時預かり向けの研修科目が必要。
- 既に従事している者もこの研修を受け直すと負担が重い。

2 個別の科目について

- 家庭的保育に関する科目自体を大きく変える必要はない。
- 「家庭的保育の運営と管理」について、個人実施型以外の形態で行われる場合もあるため、「個人事業主としての財務管理」の部分については内容を改める必要がある。
- 「見学実習」については、受け入れ先がないので現実的には実施が難しい。